

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2018年 第2週（1月8日～1月14日）

## ★お知らせ

○インフルエンザに気を付けて！

**高知県全域、須崎、中央西、高知市、幡多で警報値である30.00を超え、中央東、安芸で注意報値である10.00を超えています。**

定点医療機関当たりの報告は第1週の18.79から第2週は31.73と増加し警報値を超えています。県全域から報告があり、須崎、中央西、中央東、安芸で急増、高知市で増加し、須崎、中央西、高知市、幡多で警報値を、中央東、安芸で注意報値を超えていますので、引き続き注意して下さい。

また、学校等における集団発生の報告で高知市保健所管内から学級閉鎖が2例報告されています。

インフルエンザ定点医療機関における迅速診断ではインフルエンザA型の割合が54.5%、インフルエンザB型の割合が45.5%となっています。

病原体検出情報では、第2週にInfluenza virus A H1pdm09が11例（高知市から搬入3例、須崎から搬入6例、幡多から搬入2例）Influenza virus AH3 NTが2例（高知市から搬入1例、須崎から搬入1例）Influenza virus B/Victoriaが3例（高知市から搬入1例、須崎から搬入2例）Influenza virus B/Yamagataが5例（高知市から搬入1例、須崎から搬入2例、幡多から搬入2例）検出されています。異なる型の流行がみられるので、複数回感染することも考えられます。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況は、直近の5週間（2017年第47～51週）ではAH1pdm09の検出割合が最も多く59.3%、次いでB（山形系統）が26.4%、AH3が13.0%、B（系統不明）が0.9%、B（ビクトリア系統）が0.4%の順でした。

インフルエンザの流行期に入っていますので、外出後の手洗いなどの感染予防を心がけ、症状がある方は、咳エチケットに心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。また、適度な湿度の保持、十分な休養とバランスのとれた栄養摂取、人ごみを避けるなどの対策も有効です。感染力は非常に強く、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡大することから、集団生活の場では特に注意が必要です。

＜予防方法＞ 手洗いと咳エチケットを心がけましょう

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- （1）普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- （2）咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- （3）手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。

高知県の保健所別の定点当たり報告数と警報・注意報レベル状況（2018年第2週）

	今週		1週前		2週前		4週前		5週前		6週前	
	第2週		第1週		第52週		第51週		第50週		第49週	
	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況	定当	状況
高知県全域	31.73	△	18.79	○	11.81	○	4.38	-	1.33	-	0.90	-
安芸	16.00	○	6.00	-	3.00	-	0.75	-	0.25	-	2.00	-
中央東	25.73	○	8.91	-	6.00	-	2.55	-	0.27	-	0.09	-
高知市	36.50	△	21.69	○	15.81	○	5.88	-	1.44	-	0.75	-
中央西	37.80	△	17.40	○	13.00	○	5.60	-	5.60	-	2.00	-
須崎	40.25	△	15.50	○	9.75	-	5.50	-	0.50	-	0.25	-
幡多	30.25	△	35.50	△	16.50	○	4.38	-	0.88	-	1.38	-

注意報値：○（10以上30未満） 警報値：△（30以上）

厚生労働省 インフルエンザ（総合ページ）：

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuleza/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuleza/index.html)

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第1週の1.63から第2週では3.00と増加しています。県全域から報告があり、中央西で急減していますが、安芸、幡多、中央東、高知市で急増しています。

定点医療機関からのホット情報では、ノロウイルス8例、細菌のカンピロバクター属菌やサルモネラ属菌、病原性大腸菌を原因とする胃腸炎の報告3例の報告があります。

病原体検出情報では第2週に須崎から搬入された検体からNorovirus G II NTが1例検出されています。

また、学校等欠席者・感染症情報システム※でも 29 例の報告があることから引き続き注意が必要です。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎は、1 年を通して発生していますが、特に冬季に流行します。嘔吐、下痢が主症状ですが、その他、発熱、腹痛などの症状があります。特に、乳幼児や高齢者、体力の低下している方は、下痢、嘔吐などで脱水症状を起こすことがありますので、早めに医療機関を受診してください。通常は 1 週間以内に回復しますが、症状消失後も 1 週間程度、長いときには 1 ヶ月程度便中にウイルスの排出が続くことがあります。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。

**< 予防方法 >** 感染予防の基本は手洗いです

人への感染経路は、主に経口（食品、糞便）です。食品を除けば大半が手に付着したウイルスが口に入って感染します。感染防止策は「手洗い」が基本ですので帰宅時・調理前・食事前・トイレの後に石けんを使ってよく手を洗いましょう。また、感染した人の便や吐物には、大量のウイルスが含まれていますので直接触れないようにし、次亜塩素酸ナトリウムまたは家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用を確認した上で使用し処理しましょう。（使い捨ての手袋やキッチンペーパーなどを使って処理しましょう。）また、調理をする場合は、十分加熱しましょう。

●厚生労働省 「ノロウイルスに関する Q&A」

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

●衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

※ 学校等欠席者・感染症情報システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム

**☆屋外活動の際にはダニに注意！**

**★日本紅斑熱や SFTS に注意しましょう**

日本紅斑熱や SFTS（重症熱性血小板減少症候群）は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で 3～4mm）のマダニが媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは野山、草地、畑、河川敷などに広く生息しています。屋外でキャンプ、ハイキングなどのレジャーや農作業をする場合には次のことに注意しましょう。（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。

**発熱等の症状が出たとき**

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

また、このたび発熱・衰弱等に加え血小板減少等の所見が見られた飼育ネコ及び飼育イヌの血液・ふん便から SFTS ウイルスが検出された事例並びに、体調不良のネコからの咬傷歴があるヒトが SFTS を発症し死亡した事例が確認されました。これらの事例は稀な事例ではありますが、イヌやネコの体液等からヒトが感染することも否定できないので、体調不良の動物に接触した後、発熱等の症状が出た時には医療機関を受診して下さい。その際には、動物との接触歴についても申し出て下さい。

●重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）

[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html)

●高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

**国内で入手できる忌避剤の種類と特徴**

忌避剤	有効成分含有率	分類	有効持続時間	注意事項	特徴
ディート	5～10%	防除用 医薬部外品	1～2時間	6ヶ月未満児には 使用禁止	・独特の匂い ・べたつき感 ・プラスチック・化学繊維・皮革を腐食することもある
	12%	防除用 医薬品	約3時間		
	高濃度製剤 30%	防除用 医薬品	約6時間	12歳未満は 使用禁止	
イカリジン	5%	防除用 医薬部外品	～6時間		
	高濃度製剤 15%	防除用 医薬品	6～8時間		

※国立感染症研究所「マダニ対策、今できること」より抜粋  
※市販の虫除け剤（忌避剤）は、用法・用量・使用方法等をよく読んで使用してください。

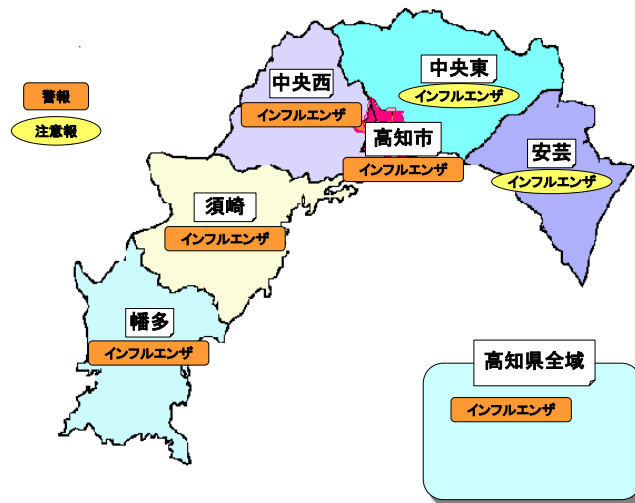
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患）

↑ : 急増   
 ↗ : 増加   
 → : 横ばい   
 ↘ : 減少   
 ↓ : 急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
インフルエンザ	<span style="color: magenta;">↗</span>	31.73	須崎、中央西、中央東、安芸で急増、県全域、高知市で増加し、県全域、須崎、中央西、高知市、幡多で警報値を、中央東、安芸では注意報値を超えています。
感染性胃腸炎	<span style="color: magenta;">↗</span>	3.00	中央西で急減していますが、安芸、幡多、中央東、高知市で急増、県全域で増加しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	<span style="color: yellow;">→</span>	1.13	安芸で急減、幡多で減少していますが、高知市、中央西で急増しています。
手足口病	<span style="color: red;">↑</span>	0.47	県全域、中央西、安芸、幡多で急増、中央東で増加しています。
RSウイルス感染症	<span style="color: yellow;">→</span>	0.43	高知市で減少していますが、中央東で急増しています。

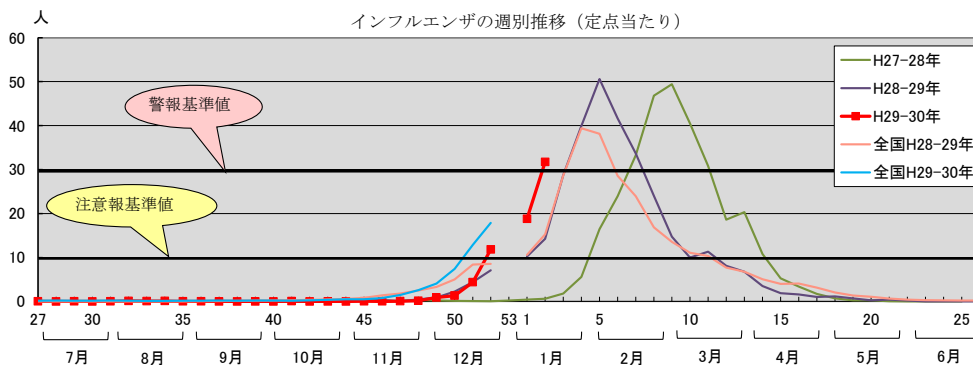
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

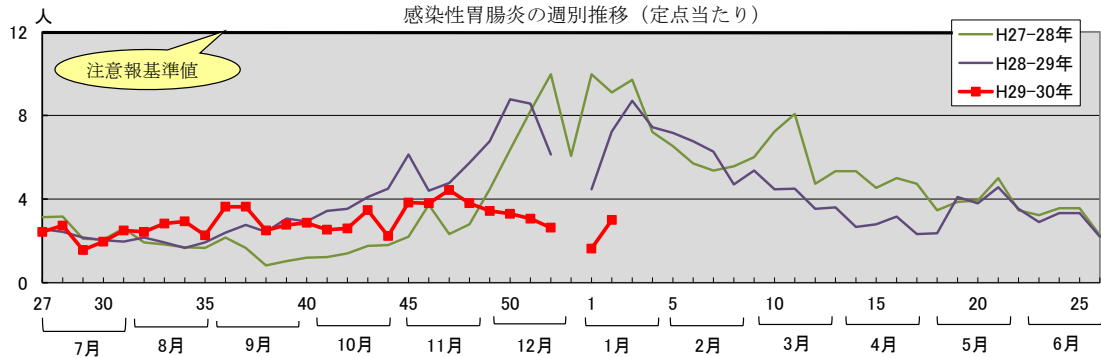
○インフルエンザ 第2週：31.73（注意報値：10.00 警報値：30.00）

第2週の定点医療機関からの報告数は定点当たり31.73（前週：18.79）と増加し警報値を超えています。須崎40.25（前週：15.50）中央西37.80（前週：17.40）中央東25.73（前週：8.91）安芸16.00（前週：6.00）で急増、高知市36.50（前週：21.69）で増加し、須崎、中央西、高知市、幡多で警報値を、中央東、安芸で注意報値を超えています。



○感染性胃腸炎 第2週：3.00（注意報値：12.00 警報値：20.00）

第2週の定点医療機関からの報告数は定点当たり 3.00（前週：1.63）と増加しています。中央西 0.33（前週：2.33）で急減していますが、安芸 5.00（前週：1.50）幡多 3.60（前週：1.60）中央東 3.43（前週：1.71）高知市 3.00（前週：1.36）で急増しています。



※グラフの途切れについて

H27-H28年は第53週までであるため、グラフ横軸に第53週を挿入しています。そのため、H28-H29年とH29-H30年のグラフ第52週～第1週間に途切れが生じています。

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
2	インフルエンザ	1	男	高知市	Influenza virus A H1pdm09
2	インフルエンザ	6	男	高知市	Influenza virus A H1pdm09
2	インフルエンザ	3	女	高知市	Influenza virus A H1pdm09
2	インフルエンザ	11	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
2	インフルエンザ	7	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
2	インフルエンザ	7	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
2	インフルエンザ	12	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
2	インフルエンザ	11ヶ月	女	須崎	Influenza virus A H1pdm09
2	インフルエンザ	8	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
2	インフルエンザ	8ヶ月	女	幡多	Influenza virus A H1pdm09
2	インフルエンザ	3	男	幡多	Influenza virus A H1pdm09
2	インフルエンザ	5	男	高知市	Influenza virus A H3 NT
2	インフルエンザ	82	男	須崎	Influenza virus A H3 NT
2	インフルエンザ	5	男	高知市	Influenza virus B/Victoria
2	インフルエンザ	5	男	須崎	Influenza virus B/Victoria
2	インフルエンザ	5	女	須崎	Influenza virus B/Victoria
2	インフルエンザ	9	男	高知市	Influenza virus B/Yamagata
2	インフルエンザ	5	女	須崎	Influenza virus B/Yamagata
2	インフルエンザ	23	男	須崎	Influenza virus B/Yamagata
2	インフルエンザ	15	女	幡多	Influenza virus B/Yamagata
2	インフルエンザ	15	男	幡多	Influenza virus B/Yamagata
2	感染性胃腸炎	4	男	須崎	Norovirus GII NT

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内容	保健所
2類	結核	1	2	80歳代 男	安芸
		1		90歳代 男	須崎
5類	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	2	50歳代 男	中央東
		1		60歳代 女	高知市
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	6	60歳代 男	高知市
		1		50歳代 男	
		1		60歳代 男	
	1	1	70歳代 男	幡多	
梅毒	1	1	20歳代 男	高知市	

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情報
中央東	早明浦病院小児科	インフルエンザ A 型 3 例、B 型 3 例（7 歳～12 歳） 伝染性紅斑 2 例（5 歳）
	野市中央病院小児科	インフルエンザ A 型 1 例（15 歳男） インフルエンザ B 型 2 例（10 歳女、14 歳女）
	高知大学医学部付属病院小児科	ノロウイルス胃腸炎 1 例（4 ヶ月男）
高知市	高知医療センター小児科	RS ウイルス感染症 1 例（1 歳女） A 群溶血性レンサ球菌 1 例（5 歳男） ノロウイルス 1 例（1 歳男） インフルエンザ 12 例（男：14 歳、15 歳 2 人、 女：10 ヶ月、3 歳、6 歳、7 歳 2 人、8 歳、9 歳、34 歳、50 歳）
	けら小児科・アレルギー科	アデノウイルス扁桃炎 2 例（6 歳、8 歳） ノロウイルス腸炎 3 例（1 歳、2 歳、4 歳） 病原性大腸菌 O-1 腸炎 1 例（77 歳）
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ A 型 29 例、B 型 28 例（ワクチン接種済み 10 例） インフルエンザ A 型と溶連菌感染症同時感染 1 例（4 歳女） 溶連菌感染症 2 例 水痘 1 例（9 歳女：ワクチン未接種）
	細木病院小児科	ノロウイルス 1 例（1 歳女） キャンピロ 1 例（13 歳） サルモネラ 1 例（8 歳）
中央西	くぼたこどもクリニック	インフルエンザ A 型 13 例 （内 須崎市：3 歳女、四万十町：11 歳男、仁淀川町：5 歳女） インフルエンザ B 型 2 例（市内の高校通学）
須 崎	もりはた小児科	ノロウイルス胃腸炎 2 例 マイコプラズマ肺炎 1 例（10 歳女） インフルエンザ 58 例（A 型 23 例、B 型 35 例） 百日咳 1 例（12 歳男：Lamp 陽性）
幡 多	幡多けんみん病院小児科	hMPV 陽性 4 例（1 歳男、2 歳男 3 人）
	さたけ小児科	インフルエンザ 52 例（A 型 31 例、B 型 21 例）

★全国情報

第51号（12月18日～12月24日）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核340例

3類感染症：細菌性赤痢2例、腸管出血性大腸菌感染症11例

4類感染症：E型肝炎3例、A型肝炎8例、オウム病2例、コクシジオイデス症1例、つつが虫病22例  
デング熱1例、日本紅斑熱1例、マラリア1例、レジオネラ症12例、レプトスピラ症1例

5類感染症：アメーバ赤痢10例、ウイルス性肝炎4例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症21例  
急性脳炎14例、クロイツフェルト・ヤコブ病7例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症9例  
後天性免疫不全症候群19例、ジアルジア症1例、侵襲性インフルエンザ菌感染症8例  
侵襲性肺炎球菌感染症49例、水痘（入院例に限る）3例、梅毒69例、  
播種性クリプトコックス症1例、風しん4例、麻しん1例

報告遅れ：E型肝炎1例、つつが虫病8例、レジオネラ症6例、  
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症6例、急性脳炎7例、  
劇症型溶血性レンサ球菌感染症9例、水痘（入院例に限る）2例、梅毒58例、  
播種性クリプトコックス症1例

第52号（12月25日～12月31日）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核341例

3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症15例

4類感染症：E型肝炎2例、A型肝炎8例、コクシジオイデス症1例、つつが虫病20例、デング熱1例、  
日本紅斑熱3例、レジオネラ症21例

5類感染症：アメーバ赤痢16例、ウイルス性肝炎1例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症18例  
急性脳炎12例、クロイツフェルト・ヤコブ病3例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症10例  
後天性免疫不全症候群11例、侵襲性インフルエンザ菌感染症5例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例  
侵襲性肺炎球菌感染症45例、水痘（入院例に限る）4例、梅毒76例、  
播種性クリプトコックス症3例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、風しん2例  
薬剤耐性アシネトバクター感染症1例

報告遅れ：つつが虫病2例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症8例、急性脳炎8例、  
劇症型溶血性レンサ球菌感染症7例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例、水痘（入院例に限る）1例  
梅毒29例、播種性クリプトコックス症1例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症1例

-----

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第2週 平成30年1月8日(月)～平成30年1月14日(日)

高知県衛生研究所

定点名 疾病名	保健所	第2週						計	前週	全国(1週)	高知県(2週末累計)		全国(1週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H30/1/1～H30/1/14	H30/1/1～H30/1/7		
インフルエンザ	インフルエンザ	64	283	584	189	161	242	1,523 ( 31.73)	902 ( 18.79)	79,930 ( 16.31)	2,425 ( 50.52)	79,930 ( 16.31)		
小児科	咽頭結核熱			1				1 ( 0.03)	4 ( 0.13)	935 ( 0.30)	5 ( 0.17)	935 ( 0.30)		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	2	20	4		7	34 ( 1.13)	29 ( 0.97)	3,382 ( 1.09)	63 ( 2.10)	3,382 ( 1.09)		
	感染性胃腸炎	10	24	33	1	4	18	90 ( 3.00)	49 ( 1.63)	10,385 ( 3.36)	139 ( 4.63)	10,385 ( 3.36)		
	水痘	1	1	3			1	6 ( 0.20)	9 ( 0.30)	1,402 ( 0.45)	15 ( 0.50)	1,402 ( 0.45)		
	手足口病	1	3	5	3		2	14 ( 0.47)	7 ( 0.23)	541 ( 0.18)	21 ( 0.70)	541 ( 0.18)		
	伝染性紅斑		2	1		1		4 ( 0.13)	( 0.00)	144 ( 0.05)	4 ( 0.13)	144 ( 0.05)		
	突発性発疹		2	2	2	1		7 ( 0.23)	8 ( 0.27)	630 ( 0.20)	15 ( 0.50)	630 ( 0.20)		
	ヘルパンギーナ							( 0.00)	( 0.00)	52 ( 0.02)	( 0.00)	52 ( 0.02)		
	流行性耳下腺炎							( 0.00)	( 0.00)	554 ( 0.18)	( 0.00)	554 ( 0.18)		
	RSウイルス感染症		3	6			4	13 ( 0.43)	16 ( 0.53)	1,357 ( 0.44)	29 ( 0.97)	1,357 ( 0.44)		
眼科	急性出血性結膜炎							( 0.00)	( 0.00)	5 ( 0.01)	( 0.00)	5 ( 0.01)		
	流行性角結膜炎							( 0.00)	1 ( 0.33)	424 ( 0.61)	1 ( 0.33)	424 ( 0.61)		
基幹	細菌性髄膜炎							( )	( 0.00)	10 ( 0.02)	( 0.00)	10 ( 0.02)		
	無菌性髄膜炎							( )	( 0.00)	8 ( 0.02)	( 0.00)	8 ( 0.02)		
	マイコプラズマ肺炎			3				3 ( 0.38)	1 ( 0.13)	96 ( 0.20)	4 ( 0.50)	96 ( 0.20)		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							( )	( 0.00)	2 ( 0.00)	( 0.00)	2 ( 0.00)		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							( )	( 0.00)	19 ( 0.04)	( 0.00)	19 ( 0.04)		
計 (小児科定点当たり人数)	77 ( 22.50)	320 ( 31.03)	658 ( 42.95)	199 ( 41.13)	167 ( 43.25)	274 ( 36.65)	1,695 ( 37.35)			99,876	2,721 ( 60.22)	99,876		
前週 (小児科定点当たり人数)	34 ( 11.00)	117 ( 11.63)	401 ( 26.41)	97 ( 20.73)	68 ( 18.50)	309 ( 40.50)		1,026 ( 22.85)						

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名 疾病名	保健所	第2週						計	前週	全国(1週)	高知県(2週末累計)		全国(1週末累計)	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多				H30/1/1～H30/1/14	H30/1/1～H30/1/7		
インフルエンザ	インフルエンザ	16.00	25.73	36.50	37.80	40.25	30.25	31.73	18.79	16.31	50.52	16.31		
小児科	咽頭結核熱			0.09				0.03	0.13	0.30	0.17	0.30		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.29	1.82	1.33		1.40	1.13	0.97	1.09	2.10	1.09		
	感染性胃腸炎	5.00	3.43	3.00	0.33	2.00	3.60	3.00	1.63	3.36	4.63	3.36		
	水痘	0.50	0.14	0.27			0.20	0.20	0.30	0.45	0.50	0.45		
	手足口病	0.50	0.43	0.45	1.00		0.40	0.47	0.23	0.18	0.70	0.18		
	伝染性紅斑		0.29	0.09		0.50		0.13	0.00	0.05	0.13	0.05		
	突発性発疹		0.29	0.18	0.67	0.50		0.23	0.27	0.20	0.50	0.20		
	ヘルパンギーナ							0.00	0.00	0.02	0.00	0.02		
	流行性耳下腺炎							0.00	0.00	0.18	0.00	0.18		
	RSウイルス感染症		0.43	0.55			0.80	0.43	0.53	0.44	0.97	0.44		
眼科	急性出血性結膜炎							0.00	0.00	0.01	0.00	0.01		
	流行性角結膜炎							0.00	0.33	0.61	0.33	0.61		
基幹	細菌性髄膜炎							0.00	0.00	0.02	0.00	0.02		
	無菌性髄膜炎							0.00	0.00	0.02	0.00	0.02		
	マイコプラズマ肺炎			0.60				0.38	0.13	0.20	0.50	0.20		
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)							0.00	0.00		0.00	0.00		
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)							0.00	0.00	0.04	0.00	0.04		
計 (小児科定点当たり人数)	22.50	31.03	42.95	41.13	43.25	36.65	37.35			60.22				
前週 (小児科定点当たり人数)	11.00	11.63	26.41	20.73	18.50	40.50		22.85						

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）  
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2018年1月15日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。